

評議員会 浅沼会長挨拶

平成23年9月16日

評議員会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。
皆様方には、何かとご多忙のところ、評議員会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、日ごろより、全建の事業活動、運営等に関しまして、深いご理解とご協力をいただき、重ねて御礼申し上げます。

先般発生した台風12号は、死者・行方不明者あわせて100人を超えるなど、西日本を中心として甚大な被害をもたらしました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被害にあわれた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

3月11日に発生した東日本大震災から半年が経過しました。未だ4,000人を超える多くの行方不明者の捜索が続く中、特に津波、原発事故により被害の大きかった岩手、宮城、福島県の被災地では、被災直後から現在まで、自らも被災し、不自由な生活を強いられる中、復旧・復興作業に従事されている我々の仲間がたくさんおられます。その方たちのご労苦により、先月までにがれきの仮置き場への撤去率は全体で8割を超えたと報道されております。夏の炎天下で必死になってがれきを撤去し、復興作業に従事する方々、激しい豪雨の中、危険を顧みず自らの使命を果たそうと復旧作業に従事する方々のご苦勞に対し、衷心より感謝と敬意を表します。

さて、最近の我が国の経済は、サプライチェーンの立て直しにより、震災直後の状態からは徐々に回復の動きを見せておりますが、円高や株価低迷の影響により、先行き不透明感は一層強まり、デフレ問題や高い失業率、空洞化懸念などの問題を抱えたままであります。

9月2日には野田新総理が誕生しました。新総理には、強いリーダーシップを発揮され、早急な震災復興・原発問題はもとより、経済再生、財政健全化、外交・安全保障問題に早急に、そして果敢に取り組んで頂きたいと思っております。来年度概算要求が議論される中、

公共事業費のさらなる削減の声もありますが、3月の大震災、6月の九州地方の集中豪雨、このたびの台風12号による被害を考えますと、国民の安全を守るための防災・減災対策は待ったなしの状況です。また日本経済再生、デフレ脱却のための公共投資は有効であると考えております。国民が安全・安心して暮らせる社会の構築のため、地域の情勢や災害対応に配慮した国土保全ビジョンを早期に示していただき、それに基づいた継続的な社会資本整備に取り組んで頂きたいと考えております。建設業界としても、最大限の協力をしてまいりたいと考えております。

特に震災復旧、復興につきましては、復興計画が策定されつつありますが、計画策定に際し、国の主導が求められているところもあります。是非、国民が夢を、被災者が希望を持てる全体ビジョンに基づいた、早急な支援、指導をお願いしたいと思っております。また、財源に関しましては、まずは復興計画があり、その中で財源の問題を議論すべきです。赤字国債とは性格が違う建設国債の議論もされるべきであると強く思います。

さて、いよいよ10月3日からは、国土交通省との共催によりまず地域懇談会並びにブロック会議が、関東甲信越ブロックを皮切りに、全国9ブロックにて開催されます。

若年者の建設業離れが進む中、10年、20年先を見据えますと、最も大きな課題の一つは人材の確保であります。そしてその人材を確保するためには、公共調達制度も改善していかなければなりません。どうか、この機会に各県協会におかれては、各議題について忌憚のないご意見をいただきますとともに、各地域において抱えられておられます諸問題について、地域の生の声を本音で議論いただくようよろしくお願い申し上げます。

先ほど開催した臨時総会において、一般社団法人への移行認可申請に関する件について上程し、ご承認をいただいたところでございます。本会といたしましては、平成24年度より「一般社団法人」として新たなスタートが切れるよう万全を尽くしてまいります。

現在、我々業界団体を取り巻く状況は、大きく変わろうとしてお

ります。全建は、大手から中堅・中小企業まで、そして全国47都道府県を網羅した建設業団体であります。それぞれがバランスよくその得意分野で力を発揮できるよう建設業全体を俯瞰しながら、その活動をしていかななくてはなりません。そして、建設業が国民に正しく理解され、感謝される業界となり、そこで働く人々が誇れる業界となれるよう、CSRの徹底、積極的な広報活動に取り組まなければならないと考えております。全建並びに47都道府県協会が一致協力し、建設業の健全な発展に向けて活動してまいりたいと存じます。

本日は、この評議員会終了後、となりの増上寺におきまして、建設事業遂行のために不幸にも不慮の災禍に遭われ、殉職された方々、昨年は70名でありましたが、昭和12年に本会が慰霊塔を建立以来62,491柱の方々のご供養を申し上げる慰霊供養を行います。私が代表いたしまして事務局役職員を帯同し、土木建築殉職者慰霊塔の前において執り行うこととしております。ご都合のつく方には是非ご参列くだされば幸いです。

最後に、本日ご出席の皆様方のご健勝と各都道府県協会並びに会員企業のますますのご隆盛・ご発展を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。